



「オケクラフト作り手養成塾」入塾式

オケクラフトの職人を育てる「オケクラフト作り手養成塾」の入塾式が4月11日、どま工房で行われ、前田めいさんが入塾しました。前田さんは札幌市出身。岐阜県の家具メーカーで家具作りに携わっていました。今後はアトリエ・ときデザイン研究所の時松辰夫さんを名誉塾長に、技術指導は主任講師の片岡祐土さんら町内の作り手が担い、2年間基礎的な技術を学びます。



新置戸人、交流とモノづくりを楽しむ

置戸町青年団体連絡協議会主催の「置戸ニューフェイスの環(わ)」が4月13日、どま工房で開催され、この春から新たに置戸町に住み始めた若者など16人が参加し、交流とモノづくりを楽しみました。参加者は、自己紹介やゲームを行った後、小枝のフォークづくりに挑戦。サクラの小枝を思い思いにナイフで削り、紙やすりで整えた後に塗装を行い、オリジナルの作品に仕上げました。



置中生徒会、ペットボトルキャップ寄贈

4月16日、置戸中学校生徒会は、エコキャップ運動の取り組みで集めた2年間分のペットボトルキャップ89.6kgを町社会福祉協議会の鈴木正美事務局長に手渡しました。エコキャップ運動は、キャップを収集し、リサイクルすることにより発生した売却益を発展途上国の子ども達にワクチン代として寄付するもので、今回、寄贈されたキャップは、約45人分のワクチン代になるとのことです。



鈴木トシ子さん、人材育成基金へ寄附

心和町内在住の鈴木トシ子さんは、4月25日、夫の鈴木進氏(北進工業㈱会長)の死去に際して、町の子ども達の将来に役立ててほしいと100万円を町に寄附されました。寄附金は町内の子ども達の高校、大学などへの就学を支援する人材育成基金(奨学金)として、活用されます。